

# 11 月例会 『ぜんぶ、フィデルのせい』

## 12 月 18 日に 『歓喜の歌』 上映会

今年度の事業計画の中にあげていた下期の上映会について、応募していた文化庁の平成 20 年度日本映画上映支援事業に採択されたため、特別ゲストとして李鳳宇(リ・ボンウ)さんをお招きして、『歓喜の歌』の上映会イベントを開催することになりました。詳細は、「『歓喜の歌』上映会のお知らせ」のとおりですので、お誘いあわせのうえご来場ください。

この半年で、会員数が 4 分の 3 の 158 人に減ってしまいました。会の運営に支障がある会員数です。退会者が増えたこともあるのですが、新入会者がほとんどいないことを、たいへん心配しています。しばらくは、新入会を呼びかけることに重点を置いて、開催経費の安価な作品を選んだり、行事への参加助成を中止したり、消耗品を持ち寄りたりと、会員や役員の皆さんに少し我慢してもらって耐えていくことになりそうです。無理なことや派手なことはせず、地道に優れた作品の鑑賞会を続け、しばらくようすを見ていく予定です。経費負担が無かったり、少しの手数料をいただくだけの上映会には、引き続き積極的に主催や協力を行っていきますので、会員の皆さんもチケット購入いただいたり、受付や会場準備片付けなど、できることはお手伝いください。

前回までの例会選定会議と運営委員会で、15 件程度の候補作品の中から、新入会を呼びかけやすく、経費が抑えられる作品ということから、1 月例会『西の魔女が死んだ』、3 月例会『オフサイドガールズ』が選定されましたので、お知らせします。

### 11 月例会のお知らせ



1996-98 AccuSoft Inc., All rights reserved (ぜんぶ、フィデルのせい)

名称 / 第 39 回例会 『ぜんぶ、フィデルのせい』

日時 / 11 月 20 日(木) PM2:00~、PM4:20~、PM6:40~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩 10 分、車は加古川バイパス加古川東ランプ

北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きを行っていない方は、受付で 4 箇月分の会費(2000 円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

#### 【例会作品データ】

タイトル / ぜんぶ、フィデルのせい

監督 / ジュリー・ガヴラス

原作 / ドミティッラ・カラマイ

出演 / ニナ・ケルヴェル、ジュリー・ドパルデュー、ステファノ・アコルシ、バンジャマン・ファイエ、マルティーン・シュヴァリエ

データ / 2006 年、イタリア / フランス、99 分、ドラマ / ヒューマン、35mm フィルム

#### 【ストーリー】

両親が突然、共産主義になったことで激変した日常。これをすべて「革命家フィデル・カストロのせいだ」と考える 9 歳の少女の視点を通して、世界が揺れていた 1970 年代の政治的背景を映し出す。

チリのアジェンデ政権のために働くパパ、中絶の自由を訴えるウーマンリブ運動に力を注ぐママのもとで、不満ばかり募らせていたアンナが、彼女なりに少しずつ社会と自由の仕組みを理解し、成長してゆく様子をチャーミングに描く。

初の映画出演とは思えない存在感が光るニナ・ケルヴェルがアンナ役。

### 『歓喜の歌』上映会のお知らせ

名称 / 加古川シネマクラブ上映会 『歓喜の歌』

ゲスト 李 鳳宇(リ・ボンウ / プロデューサー)

日時 / 2008 年 12 月 18 日(木)

上映会は、AM10:30~、PM1:00~

ゲストトークは、PM3:00~PM4:00

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩 10 分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

料金 / 加古川シネマクラブ会員 800 円、一般 1,200 円 (非会員はチラシ割引などをご利用ください)

#### 【作品データ】

タイトル / 歓喜の歌

企画・エグゼクティブプロデューサー / 李 鳳宇(リ・ボンウ)

監督・脚本 / 松岡錠司

原作 / 立川志の輔



©2008「歡喜の歌」パートナーズ

出演 / 小林薫、伊藤淳史、由紀さおり、浅田美代子、安田成美、田中哲司、藤田弓子、根岸季衣、光石研、筒井道隆、笹野高史、塩見三省、渡辺美佐子

データ / 2007年、日本、カラー、1時間52分、ドラマ / ヒューマンコメディ

その他 / 文化庁支援(平成20年度日本映画上映支援事業)、加古川市教育委員会後援

#### 【解説】

落語家の立川志の輔の新作落語を映画化したハートフル音楽コメディ。出演者の顔ぶれからも楽しさが伝わってくる。

大晦日の公営文化ホールでママさんコーラスのダブルブッキングしたことから巻き起こる騒動をユーモラスに描く。

主演は小林薫、安田成美。監督は『さよなら、クロ』『バタアシ金魚』『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』の松岡錠司。

小さな地方都市、みたま町。町営のみたま文化会館に勤める飯塚主任は、人生をテキトーにやり過ごしてきた公務員。なんと大晦日の会場のダブルブッキングが12月30日に発覚した。セレブな奥さまたちの由緒ある“みたまレディースコーラス”と、結成1年半で初の発表会に燃える“みたま町コーラスガールズ”は、一歩も引く気配をみせない。ママさんたちの歡喜の歌は町に響き渡るのか。そして飯塚の運命は？

#### 【ゲスト / 李鳳宇(リ・ボンウ、Lee Bong-Ou)】

1960年、京都府生まれ。89年にシネカノン設立。おもな配給作品は『プラス!』『シュリ』『JSA』『北京ヴァイオリン』『スキャンダル』『誰も知らない』など多数。92年には『月はどっちに出ている』(崔洋一監督)で邦画製作にも乗り出し、その年の映画賞を総なめにした。その後、井筒和幸監督とのコンビで『のど自慢』(98年)、『ゲロッパ!』(03年)、『パッチギ!』シリーズ(05/07年)を、阪本順治監督とのコンビで『ピリケン』(96年)、『KT』(01年)、『魂萌え!』(07年)を製作。また『さよなら、クロ』(03年 / 松岡錠司監督)や『フラガール』(06年 / 李相日監督)など多数の作品を送り出している。『パッチギ!』『フ

ラガール』では多くの映画賞を受賞した。2007年「淀川長治賞」受賞。近著に『パッチギ!の - 世界は映画で変えられる』(岩波書店)がある。(『歡喜の歌』公式サイトから抜粋)

## 全国映連フェスティバルの報告

第40回全国学習交流会「さっぽろフェスティバル」に、加古川シネマクラブより岡本・山本芳、山本和の3人が参加して来ました。テーマは『映画よ世界を変えろ!』- 表現の自由と知る権利。10月11日初日、映画『蟹工船』の上映から始まり、小樽商科大学教授荻野さんと映画評論家山田和夫さんを交えた講演とトークです。2日目分科会となり山田和夫さんの「シネマ&レクチャー・『1人息子』』の上映と討論。小樽商科大学教授荻野富士夫さんの『表現の自由と平和 小林多喜二と映画』というテーマで行われました。また、この日午後から小樽半日観光ツアーなど5コースも用意されており、楽しい2日間でした。P・S 楽しさいっぱいのさっぽろフェスティバル!

映画『蟹工船』(1953年製作)をみれたこと 小樽商科大学教授、荻野先生の講演が多喜二の歩みだったこと。

半日ツアーで荻野先生と一緒に多喜二の足跡をたどったこと。その中で、多喜二の母校である小樽商科大学の図書館見学で貴重な資料が保存されていたことに感激をしました。また、小林家の墓所・多喜二が勤務していた拓銀小樽支店跡(建物はそのまま喫茶店になっていました)、小樽文学館、文学碑が建てられている公園など多喜二ゆかりの地を数多く紹介していただきました。(山本芳明)

## 前回例会の報告

9月17日の例会では、中国北京の庶民の情緒漂う胡同(フートン)での街で、93歳の老理髪師の毎日をドキュメンタリータッチで描いた『胡同(フートン)の理髪師』を鑑賞しました。主演は、実際の理髪師である93歳のチン・クイで、実に味のある好演でした。

参加者のアンケートの中には、韓国映画の『おばあちゃんの家』や、日本の小津安二郎監督作品と、同じような感覚があったという感想があった。

参加会員 117人。

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

**加古川シネマクラブ** 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 158人(9月17日現在)